

令和3年度 事業計画書		事業所名	つむぎ高梁(児童発達支援部門)	マネージャー	佐分利真夕	チームリーダー	花巻友里恵	チーフ	戸清美和子	
本年度スローガン		結実 ～つばみから花へ そして実現へ～								
本年度基本方針		①実践を通して共に学ぶ・共に成長する体制の構築 ②自分自身の成長や貢献を実感できる職場づくり ③成長する組織づくり								
本年度の重点取組と評価										
分野		本年度の事業所基本方針		具体的な取組内容			取組内容の評価指針			
利用者の 幸せの追求	本人支援	感覚統合遊びや1人遊びを通じた情報処理能力向上活動の充実(AM) 他児との関わり力向上に向けた設定遊びの充実(PM)		①1人遊び・あつまりでの感覚統合遊びの実施に向けた小集団活動計画の作成(月1回) ②人との関わり力評価に基づいた設定遊びの実施に向けた小集団活動計画の作成(月1回) ③療育実践発表に向けた設定遊びの実施(対象児:太田ステージIV-1、心の理論未獲得) ④巡回相談の実施(7月21日PM、9月22日PM)			①固有覚・前庭覚に働きかける活動に取り組み、感覚刺激の経験を積むことや姿勢保持力・ボディイメージ力を向上することを目指す ②人との関わり力向上に向けて設定遊びを設定し、他児との関わり力を意図的に経験する ④巡回相談を受けて必要な支援の検討を行い実施しながら支援の質の向上を図る			
	家族支援	療育への興味を持ちやすい活動の実施 保護者同士がつながる機会の確保		①親子活動の実施(月1回) ②保護者座談会を実施し、保護者が参加したいと思えるテーマの選定や個別の誘い掛けを行う(5月24日、11月17日) ③小集団活動の目的を掲示(週1回)し、掲示をもとにした申し送りを実施する			①季節に沿った行事に関する活動を行い、3組以上の参加を目指す 親子クリスマス会の立案を行い、7組以上の参加を目指す ②保護者が話しやすい雰囲気心がけ、3組以上の参加を目指す ③保護者との支援の共通理解を図り、保護者アンケートの満足度向上を目指す			
	地域支援	関係機関と児の課題や目的を共有できる関係の構築 療育における取り組みへの興味を持ちやすい実践の実施		①保育所等訪問の実施(1回/2か月) ②スクラム会議にて成長と課題を整理した状況報告メモを活用した報告の実施			①児の様子・支援状況のやりとりができる関係作りや時間の確保を目指す ②評価をもとに成長と課題を整理し、保護者や関係機関との支援の共通理解を図る			
つどう人の 幸せの追求	成長や貢献が実感できる職場づくり	特性に沿った支援を検討する為の知識を学べる環境作り		①昼・終礼の実施(毎日) ②職員学習会(1回/2か月)への参加、事例の提供によるケース検討の実施(5月29日) ③職員ケース会議におけるケース検討の実施(1回/2か月)			①職員間での報告・連絡・相談の徹底 ②他事業所からの意見を取り入れて支援を検討し、質の向上を図る ③支援計画の共有も含め、チーム内での支援の統一化を目指す			
	信頼と共感の持てる職場づくり	報告・相談がしやすい職場作り		①気持ちのよい挨拶の実施 ②職員親睦会の実施(3月12日) ③人事考課・目標管理活動の実施(5月、9月、2月)			①保護者・職員・関係機関等とのより良い信頼関係の構築を目指す ②職員同士がつながりを持って支い合え・高め合える関係を目指す ③事業計画に基づいた目標の設定を行い、実施・振り返りを行う中で課題と成長を共有できる関係作り			
組織の安定と 発展の追求	継続的改善活動	保護者意見・事業所点検をふまえたより良い環境作り		①保護者アンケートの実施 ②事業所向け自己評価の実施 ③安全点検チェックの実施(月1回) ④継続的改善活動の実施			①②保護者アンケートをふまえた支援・環境の見直しを行い、満足度の向上を目指す ③必要部分の修繕を行うことにより、清潔で気持ちの良い環境を目指す ④意見苦情要望シート・ヒヤリハット・自己破損報告書・始末書等の積極的活用			
	組織の透明性	支援を公開する場を設ける 保護者・地域に事業の理解をいただける場の提供		①職員向け公開療育の実施(6月24日) ②フェイスブックによる保護者への必要な情報の提供(週1回)			①公開療育の実施、振り返りによる支援の検討により、質の向上を目指す ②活動情報(設定活動・遊戯訓練等)や新たな取り組みの報告を行うことにより、保護者・関係機関につむぎの取り組みへ興味を持っていただく			
分野		評点	評価指針の達成度及び取り組み状況				次年度の重点課題			
利用者の 幸せの追求	本人支援	4	①感覚統合遊びの経験が増え、ボディイメージ力の向上につながりつつある。 ②③療育実践発表に向け、人との関わりレベルシートに沿った設定遊びの立案を行った。活動を通して、自由遊びの場面でも子どもたちが他児と積極的に関わる姿が増えている。 ④巡回相談を受けて構造化の見直し、運営の見直しを図ることができた。				子どもたちの目と手の協応動作力・微細運動力の向上を目指した支援を行い、生活動作の向上や遊びの広がりを目指す。 巡回相談にて助言をいただき、個々に応じた支援の構築や環境の設定を図ることにより質の高い療育を目指す。			
	家族支援	3	①親子活動・親子クリスマス会ともに目標数以上の参加があった。 ②座談会はコロナウイルスの為、実施ができなかった日程も多かった。開催時には2～3組の参加があった。 ③小集団活動の掲示があることにより保護者がより活動に興味を持つきっかけとなった。				保護者が興味を持って参加したいと思える親子活動・座談会の内容を検討し、実施する。 座談会や相談支援ファイル講座への参加により保護者が思いを整理することのできる機会の提供を行う。			
	地域支援	3	①訪問時に情報共有の時間を設定しただけたり、スクラム会議で共有した内容について情報確認したりする圏が増えてきた。 ②状況報告メモの活用により児の具体的な様子や成長・課題の報告を行った。				訪問とスクラム会議を通して関係機関と児の様子や支援の手立てを共有できる関係を築く。			
つどう人の 幸せの追求	成長や貢献が実感できる職場づくり	2	①定期的な昼礼の実施が難しかった。 ②職員学習会に参加し、学ぶ機会を設けられた。事例検討はコロナウイルスの関係で学習会が中止となり未実施となった。 ③ケース検討の実施は行えない月が多かったが、構造化や支援の見直しについて職員間で検討した。				各職員が支援や仕組みについて考えることのできる機会の提供を行う。			
	信頼と共感の持てる職場づくり	3	①職員間でのコミュニケーションは各職員が意識して実施できていた。 ②コロナウイルスの為、未実施となった。 ③事業計画をもとに各職員が支援を実施し、定期的に見直すことが出来ていた。				職員が自身や周囲の良いところに目を向け、互いに高め合える関係作りを実施する。			
組織の安定と 発展の追求	継続的改善活動	3	①②③実施予定月に実施している。またアンケートや安全点検をもとに支援や仕組み・環境の見直しを実施している。 ④ヒヤリハットの活用により運営・支援の見直しを実施した。				定期的な点検やマニュアルをもとに、支援を円滑に実施する為の仕組みを検討する。			
	組織の透明性	3	①公開療育を受け、支援全体の見直しを図った。また他事業所の公開療育をもとに支援を再検討する機会となった。 ②フェイスブック記事に写真を活用させていただくことにより、興味をもって見て下さる方が増えた。				公開療育や療育参観等の実施を行い、様々な視点からの意見を受ける機会を設ける。			

○評点は次のとおりとする。・5目標を達成することができた ・4おおむね目標を達成することができた ・3どちらかといえば目標を達成できた ・2どちらかといえば目標を達成できなかった ・1目標を達成できなかった

(特非)発達支援ネットワークつむぎR2.4.11～

令和3年度 事業計画書		事業所名	つむぎ高梁(放課後等デイサービス部門)	マネージャー	佐分利真夕	チームリーダー	浅嶋昌人	チーフ	井上雅博	
本年度スローガン		結実 ～つばみから花へ そして実現へ～								
本年度基本方針		①実践を通して共に学ぶ・共に成長する体制の構築 ②自分自身の成長や貢献を実感できる職場づくり ③成長する組織づくり								
本年度の重点取組と評価										
分野	本年度の事業所基本方針			具体的な取組内容			取組内容の評価指針			
利用者の 幸せの追求	本人支援	ひとりひとりの子どもたちの特性に応じた本人支援の実践		①一人一人のアセスメントに基づいた取り組みの実践。 ②実践発表「一人一人に合わせた構造化の取り組み」 ③利用者への肯定的な注目を意識して称賛をおこなう。			①②一人一人に合わせたスケジュールを行う。定期的な再評価を行い個々に合わせた構造化の実践(一人年間1回以上) ③R2年度ティーチャーズトレーニング資料を活用する。支援会議時に達成度チェックシートにより振り返りを行う。			
	家族支援	家庭での困り感に寄り添った家族支援の実践		①申し送り時に事業所内相談シートへ記入する。情報のTL集約を行い、迅速に事業所内相談を行う。 ②家庭へのアドバイス事項や事業所内相談での共有内容をWAWAにてチーム内共有する。 ③保護者から思いを聞き取る際に積極的傾聴の5つのポイントを意識する。 ④保護者に、見のほめ方のポイントを伝える。 ⑤ハッピーサークル選抜会において話題提供を行う()			①目標管理で設定した件数の記入、年間5件以上の事業所内相談の実施。 ②WAWA回覧にて事業所内相談内容を周知する(年間50件以上) ③積極的傾聴について支援会議にて確認する。達成度のチェックシートにより振り返りを行う。 ④事業所内相談においてほめることについての家庭状況を確認する。R2年度ティーチャーズトレーニングの資料を活用する。チェックシートにより振り返りを行う。			
	地域支援	所属機関のニーズに寄り添った地域支援の実践		①訪問支援時に学校での困り感の聞き取りを行う。訪問支援や会議において学校等外部機関からの聞き取りを行う際に積極的傾聴の5つのポイントを意識して思いを聞き取る。 ②スクラム会議へ参加して現の特性理解につながる発信を行う。 ③ハッピーサークル主催講演会での実践発表を行う。			①積極的傾聴について支援会議にて毎回確認する。訪問支援員は達成度のチェックシートにより振り返りを行う。 ②伝えるポイントを整理して会議に参加する。毎回、見札にて報告する。サービス担当者会議報告メモの活用。 ③積極的傾聴のある評価アセスメントと支援の実施による実践発表を行う。			
つどう人の 幸せの追求	成長や貢献が実感できる職場づくり	報・連・相を徹底した職場づくり		①チームで取り組む支援や業務において、役割を意識して業務を行う。 ②キャリアパスの取り組みにおいて、一人一人が具体的な目標と評価の設定を行う。 ③利用者へ指示や促しをする際にCCQを意識する。			①②各職員の目標管理活動等にて計画と評価を行う。 ③R2年度ティーチャーズトレーニング資料を活用する。支援会議時に達成度チェックシートにより振り返りを行う。			
	信頼と共感の持てる職場づくり	役割や立場に関わらず、互いを尊重できる職場づくり		①報連相・指示の業務において、お互いを尊重した言葉遣いや態度を心掛ける。 ②職員の良い行動や取り組み・お子さんとの関わりをチーム内で伝える。 ③懇話会において、楽しみながらお互いの理解につながるゲーム活動を実施する。			①各職員の目標管理活動等にて計画と評価を行う。 ②毎週金曜日の見札時に職員一人一人について伝える機会の設定。 ③チーム担当懇話会においてゲーム活動の実施。			
組織の安定と 発展の追求	継続的改善活動	外部や第三者の視点を大切に継続的改善活動		①毎月、環境面の安全衛生チェックを実施。 ②アンケートの回収率を上げるための案内の工夫。 ③公開療育を行い支援及び環境の見直しを実施する。			①毎月の確認と改善 ②回収率の評価 ③公開療育後の改善実施			
	組織の透明性	地域の一部としての組織の透明性に努め、つむぎ高梁の事業内容を広く発信する。		①年間1回の参観週の設定を行う。 ②マニュアルを玄関に設置する。 ③毎週のFacebook記事に活動の雰囲気や写真と文章を掲載する。 ④保護者・事業者による自己評価を実施して結果をホームページにて公表する。			①支援参観の実施 ②マニュアルの設置と更新 ③毎週の記事作成と発信 ④自己評価の実施と結果の公表			
分野	評点	評価指針の達成度及び取り組み状況				次年度の重点課題				
利用者の 幸せの追求	本人支援	4	①②達成:全利用児のスケジュールの見直しを年1回以上行った。コマ数・固定式・移動式・個別の色・トランジションカード・ミニチュア・写真・イラスト・ひらがな・漢字の個別アセスメントと作成を行った。再評価を行いながら継続的に変更を行っている。 ③達成:チェックシートにより毎月の振り返りを行った。各職員の自己啓発や支援の振り返りとして有意義だったが、どのようにフィードバックしていくかが課題である。				・スケジュールの使用において、子どもの理解と行動の状況を常に把握して、継続的な改善を実施する。支援会議においてケース検討を行う。 ・今後も学習会や講演会、巡回相談等で学んだことを意識できるような取り組みを実施する。各職員へのフィードバックの仕組み作りが必要である。			
	家族支援	4	①未達成:面談以外の事業所内相談3件。事業所側からの保護者への提案も必要である。 ②達成:チーム内回覧により事業所内相談内容を周知した(面談含む全ケース、50件以上)。児の家庭の様子やわかり、支援において有効であった。 ③達成:チェックシートにより毎月の振り返りを行った。各職員の自己啓発や支援の振り返りとして有意義だったが、どのようにフィードバックしていくかが課題である。 ④事業所内相談において、保護者に見のできてきていることに着目して伝えた。その中で称賛のポイントを伝えた。 ⑤懇話会において話題提供を行った。(参加3名)				・苦情や要望を受けてこちらから事業所内相談の提案を行う。 ・家庭、学校、休日の過ごし方等、見の全体像をチームで共有できるように見札および支援会議にて情報を報告する。			
	地域支援	4	①②訪問支援時やケース会議時に学校での困り感の聞き取りを行い、困り感のある児に対しての対応方法について共有した。訪問支援や会議において学校等外部機関からの聞き取りを行う際に積極的傾聴の5つのポイントを意識して聞き取った。発信者の発言に寄り添いながら具体的に状況を聞き取ることで、療育の視点から取り組みたいことを伝えることができ支援の方向性を共有できやすかった。 ③ハッピーサークル主催講演会において実践発表を行った。				行政主導の要支援家庭の会議において、つむぎの役割を明確にして、次の会議までの具体的な支援目標の策定と実施をする。			
つどう人の 幸せの追求	成長や貢献が実感できる職場づくり	3	①未達成:日々の支援や児の対応、構造化においてその都度チーム内で周知を行い実施した。個々の支援や手だての変更においてチームとして上手く取り組めたことが多くあった。一方でコミュニケーション不足により支援の共通理解ができていない状況が見られることもあった。長期休みにおいては各職員役割分担の計画や準備をスムーズに行えた。 ②達成:数値化した目標設定については客観的に評価できた。適切な自己評価や成果の実感に繋がる効果的な目標管理について研鑽が必要である。 ③達成:毎月のチェックにより、チームとして年間を通してCCQについて意識できた。実際の支援場面での実行は7割程度の達成であった。				・チームの重点課題を毎月のチェックシートにより各職員が意識して取り組む。 ・業務におけるコミュニケーションや報連相について、発信者が情報を整理して伝えることができる仕組みを作る。			
	信頼と共感の持てる職場づくり	2	①未達成:職員間の伝達時に報連相のどの項目についての内容であるのかわからないことが多く、職員間の言葉遣いや態度について心掛がおろそかになることがあった。 ②未達成:9月以降は未実施となった。 ③未達成:懇話会は中止となった。				・業務におけるコミュニケーションや報連相について、発信者が情報を整理して伝えることができる仕組みを作る。			
組織の安定と 発展の追求	継続的改善活動	3	①達成:毎月、環境面の安全衛生チェックを実施した。見えない部分の汚れが溜まっている状況があるため月に1回ではなく、担当エリアについては目から気にかけて、汚れについて確認および小まめに掃除をすることが必要である。 ②達成:昨年度69%、今年度71%であった。満足度の低い状況が続いている項目について次年度事業計画での実施が必要である。 ③達成:主にエリアの物理的構造化や個別のスケジュールについて改善できた部分が多くあり児の行動しやすさにつながった。指摘や提案を受けた内容について実施できていないことがあり、改善点の実施チェックを確実にする必要がある。				・環境面を整えることについて再度すべきことの周知を行う。 ・公開療育後の改善点チェックを確実に実施する。 ・遊戯記録を全児年間1回以上実施する。			
	組織の透明性	3	①未達成:今年度実施ができなかった。次年度毎月実施。 ②達成:マニュアルを玄関に設置した。今後、保護者が目にしやすい状況を考えていく。 ③達成:毎週のFacebook記事に児の表情や活動の雰囲気が伝わりやすい写真や文章を心掛けた。 ④達成:保護者・事業者による自己評価を実施して結果をホームページにて公表した。				・保護者参観を毎月実施する。 ・Facebookの記載内容について年間計画を立てる。			

○評点は次のとおりとする。・5目標を達成することができた ・4おおむね目標を達成することができた ・3どちらかといえば目標を達成できた ・2どちらかといえば目標を達成できなかった ・1目標を達成できなかった

令和3年度 事業計画書		事業所名	つむぎ落合	マネージャー	佐分利真夕	チームリーダー	岩山祐貴	チーフ	藤原泉
本年度スローガン		結実 ～つばみから花へ～そして実現へ～							
本年度基本方針		①実践を通して共に学ぶ・共に成長する体制の構築 ②自分自身の成長や貢献を実感できる職場づくり ③成長する組織づくり							
本年度の重点取組と評価									
分野	本年度の事業所基本方針	具体的な取組内容	取組内容の評価指針						
利用者の 幸せの追求	本人支援	個別に応じた自立的に行動する力の向上に繋がる構造化の構築。 ①療育実践発表に向けた構造化の取り組み実施 ②個々が安心して遊び込める興味関心に沿った見通しをもって遊べるプレイエリアの構造化の実施 ③巡回相談の実施と実践(年2回)	①アセスメントに基づき、個別に応じたスケジュールを作成し、スケジュールを意識したスムーズな切り替えと自立的行動の向上を目指す ②興味関心に基づいたエリア設定、エリアごとの過ごし方のルールの提示、エリアに応じたコミュニケーションカードの設置により、安心して過ごせるプレイエリアの構築を目指す ③巡回相談を受けた改善活動の実施						
	家族支援	ハッピーサークルの活動広報の充実、保護者向け公開療育の実施により、保護者間の横のつながりのきっかけの構築。 ①ハッピーサークル情報掲示が目につきやすいように掲示板の構造化を実施。 ②保護者座談会の実施(6回/年、5月、7月、9月、11月、1月、3月) ③保護者向け公開療育の実施、(11月に実施)	①、②つむぎ落合からの参加保護者5名を目指す。生活の中で生かせるトークテーマの設定を意識する。 ③事前の広報の充実、療育実践の情報提供体制の準備のもと、公開療育週間(平日)を設定し、実施する。見学後の意見の聞き取り体制を整えておき、実施後の改善活動も実施						
	地域支援	つむぎにおける支援の発信と支援課題の共通認識を定着することにより、所属機関との信頼関係を深めると療育実践発表の実施。 ①保育所等訪問の実施(1回/3か月)。ケース会議開催時には、個別通所計画・評価に基づく状況報告の実施。	①訪問時に、行動障害児用支援プログラムを活用した課題認識と支援内容の共有。評価の見立てによる得意不得意と生活場面を結び付けた報告の実施。						
つどう人の 幸せの追求	成長や貢献が実感できる職場づくり	学びを実践で発揮できるチーム作りの実施。 ①スキルアップ研修での発表実施(5月:チーフ担当)、事例検討ケース発表の実施(11月:つむぎ落合) ②担当職員による個別通所計画に基づいた個別支援記録の支援の過程に関する発表実施(各職員2回/年支援会議時) ③他施設への見学実施(社会福祉法人クムレ:放課後等デイサービス/ノハ検討一支援学校の対象児中心の施設見学によりASDの支援の手がかりを得る目的)※可能であれば	①スキルアップ研修:新任職員向けの療育で大切になる情報を意識した内容選定と発表原稿の作成、発表の実施、事例検討:困り感が生じている事例の情報提供の実施、他事業所からの意見の情報に基づいた改善活動の実施。 ②担当児のアセスメントに基づく支援目的、支援内容を整理した発表原稿(PP:10分間の内容)で作成し、支援会議での発表を実施 ③見学から得られた情報に基づいて事業所の構造化の実施。						
	信頼と共感の持てる職場づくり	各自の役割意識を明確に持つことを基盤として、相互に自然と協力できる職場づくりの構築。 ①目標管理活動の実施。 ②昼礼会議の実施(毎日) ③児の成長を感じた姿発表会の実施。(1回/2週昼礼時)	①事業計画に沿った各役割の理解、自己研鑽を目指した人事考課の実施。目標の取り組みに対し明確に評価できる指針を意識した実践を行う。 ②、③タイムリーな報告連絡相談の実践、児の成長の共通認識や発見を通して支援の実践の達成感を共有する。						
組織の安定と 発展の追求	継続的改善活動	「今」を当たり前にするのではなく、保護者意見や安全点検を通して、常によりよく改善できる可能性があることのチーム意識の構築 ①継続的改善活動を受けて改善策の実施 ②保護者向けアンケート・事業所向け自己評価の実施後、課題整理と実践。 ③充実した安全点検の実施(1回/月)。	①意見苦情要望、ヒヤリハット、事故致損報告書、始末書、提案書の実施とチームでの原因分析と対策の検討・安全美化点検チェックを使用した環境美化への取り組み ②保護者向けアンケート・自己評価の実施に基づいた、事業所環境の改善 ③必要に応じて項目改定も視野に入れた確実な実施。						
	組織の透明性	事業所の取り組み発信を自信を持って積極的に行う姿勢の構築。 ①Facebookの普及に向けた取り組み ②職員向け公開療育の実施(11月)。 ③地域を活用したつむぎサークルの実施。	①フェイスブックにて、療育を取り上げた内容掲載時につむぎ通信での内容紹介、アクセス方法の発信。申し送り時に掲示記事の紹介の声かけの実施。 ②公開療育に基づいた事業所の環境改善の実施。 ③地域住民等インフォーマルな資源を活用したつむぎサークル活動の実施。1月に餅つきイベントを開催。開催に向け、地域資源の情報収集、依頼、企画準備の実施。						
分野	評価	評価指針の達成度及び取り組み状況	次年度の重点課題						
利用者の 幸せの追求	本人支援	3 ①個別にスケジュールを導入し、見通しを持って行動できる児の姿が増えている。公開療育や巡回相談を受け、再アセスメントを繰り返す、個々に合った必要な設備の選定に課題があるが、継続して改善を行う。 ②公開療育を受け、活動の再構造化を実施。エリアの情報が集約されたことにより、遊びを選択しやすい様子が見られている。 ③巡回相談を受けて構造化の見直し、運営の見直しに取り組むことができた。	活動プログラムの不十分さを感じられる。復元的構造化を活用した自立課題の充実とお手伝い等の自立活動のプログラムを盤え、見通しを持って活動できる環境を整備していく。また個々に応じた必要な情報を整理したスケジュールの確立を行う。						
	家族支援	2 ①、②コロナの影響もあり、実施できない日程もあった。1組事業所より参加があった。 ③保護者向け公開療育は、未実施であった。	事業所内相談の活用を広げられる広報を行う。事業所内相談の活用により、児の生活する各環境でつながるのある支援の構築を目指す。療育参観の仕組みを整理し、保護者の声を生かした環境改善を実施する。						
	地域支援	4 ①コロナの影響で、訪問実施が難しい機関も生じていたが、目標の訪問件数は達成できた。学校機関からのケース会議依頼も増えてきている。療育でのアセスメントの状況を踏まえた情報の提供、学校環境で活かしやすい工夫について報告を行ってきた。	保育所等訪問については、実施する際に事前準備として用意する情報の整理を行い、訪問時に良質な情報共有ができる仕組みを盤える。						
つどう人の 幸せの追求	成長や貢献が実感できる職場づくり	3 ①チーフによる、スキルアップ研修の発表を完了している。事例検討のケース発表も完了。事業所内での取り組みや児の様子のかえ方について情報共有ができた。 ②1名スタッフの発表が未実施で合った。 ③コロナの影響、法人内の公開療育、諏訪先生による巡回相談の機会にて、療育内容見直しを図る取り組みにて、構造化の改善に繋がった。	連絡会を通して、PDCAサイクルを意識した支援、業務の振り返りを行い、各職員が達成感を感じられる仕組み作りを実施する。						
	信頼と共感の持てる職場づくり	3 ①目標管理をもとに各職員が、取り組みを実施することができていた。フィードバックまでは完了している。目標達成のあり方の設定が不十分な構成となった項目も生じていた点が課題であった。 ②長期休み時期には、昼礼の実施が、遅かった。昼礼で共有する内容の改善の必要性も感じた。 ③支援会議の機会に、評価や様子に基づいた成長の気付きの共有は実施した。昼礼での定期的な実施は、未達成であった。	日常の業務の役割整理を実施し、各職員が責任を持って行動できる環境を再構築する。連絡会での情報共有のあり方を整理し、方向性を共有したチーム作りを実施する。						
組織の安定と 発展の追求	継続的改善活動	3 ①報告書を活用し、情報の吸い上げは実施できていた。報告内容のさび分け等の共通認識を図っていく点に課題を感じている。 ②アンケートの実施完了。アンケートの内容を基に支援内容、仕組みの改善を実施。 ③安全点検の実施完了。長期休み期間の実施に遅れが生じたことがあったが、計画的な実施の必要性あり。	マニュアルを基本とした対応を共有し、共通認識を持って対応できるチーム作りを行う。						
	組織の透明性	2 ①フェイスブックの事業所掲示板更新を一週間ごとに実施。 ②職員向け公開療育を実施。助言を受ける中で環境改善へとつながることができた。 ③コロナの影響もあり、事業所内・近隣の活動が主となっている。	Facebookの活用、療育参観、公開療育等様々な実践を通して関心した事業所を目指す。自信を持って発信できる療育環境の再整理が早急な課題でもある。構造化の管理を実施し、公開療育・療育参観等を実施する。						

○評価は次のとおりとする。・5目標を達成することができた ・4おおむね目標を達成することができた ・3どちらかといえば目標を達成できた ・2どちらかといえば目標を達成できなかった ・1目標を達成できなかった

(特非)発達支援ネットワークつむぎR2.4.11～

令和3年度 事業計画書		事業所名	つむぎ吉備中央	マネージャー	佐分利真夕	チームリーダー	花巻優樹	チーフ	佐々木麻衣、山崎裕	
本年度スローガン		結実 ～つぼみから花へ～ そして実現へ～								
本年度基本方針		①実践を通して共に学ぶ・共に成長する体制の構築 ②自分自身の成長や貢献を実感できる職場づくり ③成長する組織づくり								
本年度の重点取組と評価										
分野	本年度の事業所基本方針			具体的な取組内容			取組内容の評価指針			
利用者の 幸せの追求	本人支援	小集団からの遊びを通じた他者との関わりの実践と言語支援の明確化と実践		①人との関わりアセスメントに関連するあつまりの実施(1月) ②療育実践発表に向けたプレイエリア遊びの充実(1月22日) ③外部機関の巡回相談の実施と実践(9月22日、11月24日)			①、②人との関わりにつながる課題をあつまりにて設定し、経験を積んだ課題玩具をプレイエリア遊びに導入し、人との関わり場面の向上を目指す ③巡回相談を受けて事業所の構造化、支援の検討と実践			
	家族支援	幼児期と学童期の保護者がお互いに語り合う機会の提供と、療育支援への興味を持ちやすい環境設定の実施		①放デイ親子つむぎサークルの実施(春:5月22日 夏:7月17日 秋:9月18日 冬:2月12日) ②幼児親子療育の実施(1月に加え放デイとの親子つむぎサークルの実施) ③保護者座談会in吉備中央の実施(5回/年、5月22日、7月17日、9月18日11月20日、2月12日) ④小集団活動のねらいの掲示(1/1週)、保護者向けの本の掲示(1/2か月)			①、②親子で参加できる行事に因んだ親子活動を行い、幼児期、学童期の10組の参加を目指す(春:遠足、夏:夏祭り、秋:お月見、冬:バレンタイン)。 ③保護者が発達障がいへの知識、理解、支援に興味を持ちやすい話題提供を行い、保護者が積極的に話すことができる機会を保障していく。 ④保護者が親てわかりやすい表現を心掛ける。			
	地域支援	所属機関との「障がい特性」と「支援の目標」を共有できる信頼関係のある関係作りと地域につながる療育実践報告の実施		①保育所等訪問の実施(幼児1/2月、学童1/学期) ②ケース会議での状況メモを活用した報告			①各所属機関への訪問の中で氷山モデルを通じた特性理解と目標の共有 ②成長と課題を重点的に整理した状況報告メモの作成			
つどう人の 幸せの追求	成長や貢献が実感できる職場づくり	知識の学びと療育での実践の結びつきを捉え、特性に沿った支援を検討できる職場づくりの実施		①支援会議の実施(1/月) 法人理念、スローガンの復唱、ヒヤリハット検討、スキルアップ研修報告、職員学習会事例検討、プラン共有の実施 ②基礼の実施と文庫の共有(13時～/1日) ③職員学習会 事業所からの事例検討の提供、スキルアップ研修の実施(事例提供幼児7月3日、スキルアップ研修9月4日、事例提供放デイ1月15日)			①職員の協働意識の高い会議の運営を心がける ②報告連絡相談の徹底と運営の確認、文庫の共有の実施 ③チームでの実践を通じた療育支援への整理と新たな学びからの支援の向上			
	信頼と共感の持てる職場づくり	お互いを信頼できる関係作りを大切に、一人ひとりが役割を持った職場づくりの向上		①目標を合わせた気持ちの良い挨拶の実施 ②目標管理活動と人事考課の実施(5月、9月、2月) ③保護者を含めた職員親睦会の実施(5月15日)			①出勤、退勤、送迎、保護者、外部機関への全職員での挨拶の実施 ②事業計画に沿った目標管理活動の立案と課題と成長の共有ができる人事考課の実施 ③保護者と職員がつながる目的を持った会の運営			
組織の安定と 発展の追求	継続的改善活動	継続的改善活動や保護者意見、事業所での点検を元に気持ちの良い環境の向上		①継続的改善活動の実施と検討 ②保護者向けアンケート・事業所向け自己評価の実施 ③安全点検チェックと構造化の見直し(1/1月) ④自主点検の実施(5月)			①継続的改善活動を通じた環境の整理やチーム力の向上 ②保護者向けアンケートの実施と自己評価の実践を踏まえた、療育支援の見直し ③安全点検チェックの実施と事業所での必要カ所の修繕と構造化の実施 ④自主点検を通して事業内容と運営の見直しの実施			
	組織の透明性	透明性の高い公開の場を持ち、保護者、地域への事業理解の場の提供		①職員向け公開療育の実施(9月28日) ②保護者向け公開療育の実施(6月7日～6月12日) ③うかん風車フェスタの参加(10月31日)※中止の際にはつむぎ秋祭りの開催 ④Facebookやホームページの積極的活用につなげる情報提供(1回/月、Facebook記事、災害訓練、マニュアル情報)			①、②公開療育の実施と公開療育を受けた取り組み報告 ③地域の方につむぎを知る機会の提供と参加者が楽しめる企画、運営の実施 ④Facebookの「いいね」の増加(20いね)			
分野	評点	評価指針の達成度及び取り組み状況				次年度の重点課題				
利用者の 幸せの追求	本人支援	3	①、②療育実践発表に向けた小集団遊びを実施し、人との関わりレベルシートに沿ったグループでのトランプ活動などを行った。視覚的構造化を活かした様々な支援に取り組むことができた。 ③諏訪先生による巡回相談を受け、構造化について深めることができた。				つむぎ吉備中央では就学を迎えた児の「書字」に注目し、就学後に必要となる書く力について支援を整備する。つむぎ大和ではイライラや不安の強い児に対して適切な受け止め方や発散につながるアンガーマネジメントを新たな支援として実践を行う。また、諏訪先生からの助言をいただき、放課後等デイサービスのより質の高い療育を目指す。			
	家族支援	2	①、②幼児期学童期の合同活動は未達成である。9月よりつむぎ吉備中央(従たる事業所)の開所が始まり、親子療育を平日の週2日実施した。 ③保護者座談会を定期的に開催し、保護者同士が主体となって話す場の提供を実施した。 ④小集団活動のねらい、保護者向けの本の掲示を行い、保護者が手に取る場面が見られた。				親子療育として保護者に安心して楽しく通うことのできる親子通園の実施する。保護者座談会では本児の立場に立って考える機会の提供を行う。			
	地域支援	4	①定期的な保育所等訪問の実施を行い、各所属機関より支援について情報共有や療育への見学希望も受けた。 ②ケース会議にて状況報告メモを活用し、具体的な成長と課題についての報告を行った。				要観察教室や相談支援ファイルを書く会などの地域福祉の中での役割を担う。			
つどう人の 幸せの追求	成長や貢献が実感できる職場づくり	3	①～③支援会議、連絡会、職員学習会などの定期的な会議を実施、参加し、療育への知識や支援の仕組みを考え、各職員が様々な実践を行うことができた。				各職員がPDCAサイクルに則った療育や業務にあたり、確実な成長を実感する機会の提供を行う。			
	信頼と共感の持てる職場づくり	3	①各職員が保護者や外部機関を含め、挨拶ができた。 ②目標管理活動、人事考課を予定通り実施した。 ③保護者を含めた職員親睦会は新型コロナウイルスの為、中止となる。				チームでの情報共有と、共通した方向性を持った連絡会を実施する。			
組織の安定と 発展の追求	継続的改善活動	4	①～④継続的改善活動、保護者アンケート、自己評価、安全点検チェック、自主点検を実施予定月に実施した。				危機管理委員会での取り組み、マニュアルについてチームで共通した認識を持って対応する。			
	組織の透明性	3	①、②職員公開療育、保護者公開療育を実施し、保護者からはありがたいお言葉もいただいた。 ③地域の祭りは新型コロナウイルスの為、つむぎ秋祭りは暖房設備等の関係で中止となる。 ④Facebookにて20いねを達成した。				地域や保護者、法人内にかかれた事業所として環境整備や地域の祭りへの参画、療育参観や公開療育を実施する。			

○評点は次のとおりとする。・5目標を達成することができた ・4おおむね目標を達成することができた ・3どちらかといえば目標を達成できた ・2どちらかといえば目標を達成できなかった ・1目標を達成できなかった

(特非)発達支援ネットワークつむぎR2.4.11～

令和3年度 事業計画書		事業所名	発達・相談支援センターつむぎ	ジェネラルマネージャー	佐分利尚孝	マネージャー	佐分利真夕	
本年度スローガン		結実 ～つぼみから花へ そして実現へ～						
本年度基本方針		①実践を通して共に学ぶ・共に成長する体制の構築 ②自分自身の成長や貢献を実感できる職場づくり ③成長する組織づくり						
本年度の重点取組と評価								
分野	本年度の事業所基本方針		具体的な取組内容			取組内容の評価指針		
利用者の 幸せの追求	本人支援	相談者の障害種別や年齢などにかかわらず、多様な相談内容に幅広く対応できる相談支援を行います。	①一人ひとりの成長とともに、必要な支援は何なのかを共有していくことができる相談支援の実施。※随時			①ケース会議の際にまとめとして、成長とともに課題、そして本人が必要としている支援を発信することができる会の運営を行う。		
	家族支援	ご家族のニーズに適した支援を、柔軟かつ迅速に行えるよう、機動力のある相談支援を行います。	①ペアレント・トレーニングの実施 5月19日(水) 6月2日(水) 6月16日(水) 6月30日(水) 7月14日(水) ※9:30～11:40 ②座談会へのオブザーバー参加 5月 7月 9月 11月 1月 3月 実施 ③おやじの会(親睦会)の実施 未定			①ペアレント・トレーニングで我が子の子育てについて学ぶことができた実感を保障していく。※アンケートの実施 ②保護者支援のニーズを把握し今後の支援に活かしていく。 ③父親同士のつながりを構築。		
	地域支援	相談者に関わる人や関係機関等とのネットワークを最大限に活用し、協働して相談者の課題解決に取り組むことで、相談者から信頼される相談支援を行います。	①就学に関する学習会の開催 ※情報提供(教育機関・子ども未来課・先輩ママ・個別支援ファイル)・個別相談・先輩ママを囲んでの座談会 令和3年4月28日(水)開催予定 ②巡回相談の実施 高梁市 必要に応じて・吉備中央町 1/学期・つむぎ高梁放デイ・つむぎ落合 2/年			①情報を必要としている方への参加を促す。 ②各機関のスキルアップとともに、学んだことを行動することができる支援体制の構築を目指す。		
つどう人の 幸せの追求	成長や貢献が実感できる職場づくり	常に最新の社会福祉に関する知識や情報を集約することで、専門性を高めるとともに、その専門性を活かした、相談者一人ひとりのニーズに適した相談支援を行います。	①情報・話題提供の実施(職員学習会)・ケース会議の実施(職員学習会) ※ファシリテーター 5月29日(土) 7月3日(土) 9月4日(土) 11月6日(土) 1月29日(土) 3月5日(土) ②キャリアパス制度の推進 キャリアパス規定に基づいて計画的に実施			①つむぎ職員のスキルアップを目指す。 ②役割基準、職務基準チェック表の活用と研修体制の整備。		
	信頼と共感の持てる職場づくり		①連絡会の実施 毎週金曜日実施 ②親睦会の実施 ※家族含む 1月15日(土)18:30～			①職員同士の情報共有を図るとともに、困難事例についてはチームで支援することの体制を整備する。 ②家族同士の親睦を図る。		
組織の安定と 発展の追求	継続的改善活動	常に公平・中立の立場で、公共性に即した相談支援を行います。	①相談支援事業の評価を行い、その改善を図る 7月 評価⇒改善			①よりよい相談支援体制の確立を図る。		
	組織の透明性		①SNSの積極的活用(フェイスブック・line ハッピートーク) ②緊急時対応マニュアルの整備			①組織の透明性の確保と保護者への積極的提供、情報共有の場の確保。 ②、緊急時には迅速な対応が行えるよう策定する。		
分野	評点	評価指針の達成度及び取り組み状況			次年度の重点課題			
利用者の 幸せの追求	本人支援	4	①モニタリングにおいて、課題と成長を丁寧に記録することを心掛けていった。			①チームで記録の視点を共有し、意味のある記録を残すことができる体制を整えていきたい。		
	家族支援	3	①ペアレント・トレーニング計画通り実施。4名の参加。 ②座談会 話題提供者として参加。 ③未実施。			①家族の学びの場として、今後も継続して実施していきたい。又三歳以下を対象としたふれあいペアレント・トレーニングの実施についても検討していきたい。 ②家族支援の一つとして充実に努めたい。求められるものに応えることに努めたい。 ③特に幼児期においては子育てにどのように父親を巻き込んでいけるかは大切なポイントとなる。コロナの状況をしながら会のあり方を探りたい。		
	地域支援	5	①就学に関する学習会の開催 令和3年4月28日(水) ②巡回相談の実施 高梁市 必要に応じて・吉備中央町 1/学期・つむぎ高梁放デイ・つむぎ落合 2/年			①保護者の不安を軽減していくためにはどのような会が必要とされているかを整理していきたい。※次年度は放課後等デイサービスの情報を提供する。 ②計画通り実施。次年度は核となる職員がマネジメントの視点をもって進めるように指導していく。		
つどう人の 幸せの追求	成長や貢献が実感できる職場づくり	4	①情報・話題提供の実施(職員学習会)・ケース会議の実施(職員学習会) ②キャリアパス制度に基づいて職員育成を実施			①ケース会議においては見立てを大切にケース検討を心掛けたい。 ②目標管理活動において、チェックシートに基づいて課題を明らかにするとともに、実践や評価を共に共有することができる目標設定を心掛ける。		
	信頼と共感の持てる職場づくり	4	①連絡会の実施 毎週木曜日実施 ②親睦会 コロナ禍のため未実施			①計画通り実施。ケース検討を充実させていきたい。		
組織の安定と 発展の追求	継続的改善活動	4	①自己評価の実施			①連絡会を活用して見直しを図っていった。		
	組織の透明性	3	①フェイスブックは内容が充実してきている。今後はラインの活用や研修会の告知や集約もネットを介して取り組むことができる整備を図りたい。 ②危機管理マニュアルの整備 ※虐待防止、感染防止、災害対策、不審者対応、事故対応、車両運行			①SNSを積極的に活用することができるスキルを獲得する。 ②整備済み。各委員会活動を通して、継続的に見直ししていくことができる体制づくりに努めたい。		

○評点は次のとおりとする。・5目標を達成することができた ・4おおむね目標を達成することができた ・3どちらかといえば目標を達成できた ・2どちらかといえば目標を達成できなかった ・1目標を達成できなかった

(特非)発達支援ネットワークつむぎR2.4.11～